第 12 回　全日本学生ドイツ語弁論大会
実施要項

記

- 日　　時：**2011 年(平成 23 年) 12 月 3 日(土)**　午後 1 時 00 分より
- 場　　所：京都外国語大学　171 教室
- 主　　催：京都外国語大学
- 後　　援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、オーストリア大使館、ゲーテ・インスティトゥート大阪、在日ドイツ商工会議所、毎日新聞社、京都日独協会、DAAD(ドイツ学術交流会)
- 協　　賛：ルフトハンザ ドイツ航空、㈱三修社、マンハイム大学、ドレースデン工科大学、チューリヒ大学、ザルツブルク大学
- 出場資格：大学・短期大学在籍者(大学院生を除く)で、以下のいずれかに該当しない者。
  1) ドイツ語を母語とする者
  2) ドイツ語で授業を行う教育機関(小、中、高等学校)に１年以上通った者、もしくはドイツ語圏での在住が１年を越える者
  ★第三者による証明書の提出を求めることもある。
- 演　　題：自由（但し、本人によって作成された未発表のものに限る）
- 制限時間：５分間
- 申込締切：**2011 年 10 月 24 日(月) 必着**　（メールによる申込が望ましい。郵送も可）
  ＊氏名(漢字とローマ字)、年齢、住所、緊急連絡先(携帯電話、メールアドレス)、所属大学名・学部・学科・学年、演題(日本語とドイツ語)を明記し、弁論要旨(日本語 1,000 字以内<後日、プラグラムの作成時に使用する>)を提出すること。(メール文に直接記載、Word 文書等の添付いずれも可)
  ＊応募者が多数の場合は、ドイツ語の原稿審査(11 月中旬頃)により出場者の人数を一校あたり上限 3 名とする。
- 選考方法：演説の内容、表現力、発音、暗記力(大会当日はプロンプターをつけるが、暗記を前提とする)等により、弁論の結果を総合して入賞者を決定する。なお、弁論直後に、二次審査として審査員との簡単な質疑応答を行う。
- 審査員(予定)：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館(2 名)、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川(1 名)、ゲーテ・インスティトゥート大阪(1 名)、DAAD(ドイツ学術交流会)(1 名)
- 賞　品(予定)：ヨーロッパ往復航空券(協力: ルフトハンザ ドイツ航空)、語学研修(ゲーテ・インスティトゥート)、図書券など
- 交 通 費：近畿地方 2 府 4 県(大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県)を除く遠方からの出場者には、現金で全額支給される。ただし、交通機関の領収書(チケットのコピー可)が確認できない場合は、如何なる理由であろうと支給は行わない。

――――――お申し込み／お問い合わせ先――――――

〒615 - 8558　京都市右京区西院笠目町６
京都外国語大学ドイツ語学科
(郵送の場合は「弁論大会応募書類在中」と朱書きして下さい)
E-mail: **doitsu-benron@kufs.ac.jp**
TEL: (075) 322 - 6157・6155　(大会実行委員：菅野・筒井)